

# 夕鶴

## YUZURU

オペラパレス | 3回公演 | 全1幕 〈日本語上演〉

初演：1952年1月30日 大阪朝日会館  
作：木下順二 Kinoshita Junji  
作曲：團伊玖磨 Dan Ikuma (1924-2001)  
台本：木下順二の戯曲「夕鶴」

### 演目選定にあたって

尾高オペラ芸術参与(次期オペラ芸術監督予定者)の任期においても、毎シーズン日本人作曲家による名作を堪能していただきます。『夕鶴』は700回以上上演されている日本オペラの不朽の名作です。2000年栗山民也(新国立劇場前演劇芸術監督)が初めてオペラ演出を手がけたプロダクションで、民話の世界から、普遍的な人間ドラマを描きだしています。「限りなく美しく、透明な舞台美術にしたい」という演出家が創りだした舞台は、能舞台をイメージしたシンプルで大きな空間。これは、つうの本当の家である“空”を表し、演出のテーマとなっています。高度な譜面考察のエキスパートとも呼べる高関健の指揮や、美しい日本語を丁寧に歌い上げる歌手陣にも、どうぞご期待ください。

### 作品解説

気鋭の作曲家として注目を集めていた團伊玖磨の初めてのオペラで團伊玖磨は、「エネルギーのすべてを注ぎ込んで出来上がった作品で、私自身のオペラ創作の出発点です」と語っています。1952年27歳の團自身の指揮で初演を迎えました。日本の代表的な民話『つるの恩返し』を素材とした木下順二の戯曲『夕鶴』の付随音楽を、團伊玖磨が作曲したことがきっかけとなってオペラ作品が誕生。オペラ化にあたり、戯曲のセリフを一切変更してはならないという厳しい条件がありましたが、團伊玖磨の音楽は日本語の美しいリズムを生かし、限りなく美しい旋律となって自然に聞くものの心に染みとおる名作となりました。初演からほぼ半世紀を経た現在、上演回数は国内外で700回を優に超し、数々の受賞歴はこの作品の実力と人気のほどを示しています。57年には、日本創作オペラ初の海外公演としてチューリッヒの音楽祭に招かれ、砂原美智子が〈つう〉を演じる『夕鶴』がドイツ語によって上演されました。その後も、ニューヨーク(60年)、中国(79年)、ロシア(98年)などことあるごとに日本の文化使節的存在として世界各地で上演されています。その魅力は計り知れず、日本の風土が育んだ豊かな感性が、作品中に叙情美として、また幻想的なムードとして現れ、一方では人間の良心と物欲のしがらみや相克が描かれています。〈つう〉のアリア〈私の大事な与ひょう〉〈そのうち一枚だけは、大切にしておいてね〉などに、〈つう〉の一途でひたむきな愛がきめ細やかに込められ、心に残る聴きどころとなっています。

### あらすじ

ある雪深い村のはずれのあばら屋。貧しいが心根の優しい与ひょうは、つうという女性を女房にしてくらしている。美しくて優しいつうは、村の子供たちにも人気がある。ある日、惣どと運ずが、つうが織る見事な鶴の千羽織りを、与ひょうが売って大儲けをしているという噂話をしながら様子を伺いに来る。2人はこの千羽織りを都で売って大儲けをしようと企み、つうに布を織らせるよう与ひょうをたきつける。つうは、与ひょうが金に目がくらんでいることに気付いたが、絶対に織っている所を覗かないよう念を押して一度だけ織ることを承諾し、機屋に入る。しかし、機屋を覗いた惣どと運ずが機屋には鶴しかいないというので自分もその目で確かめる。慌ててつうを捜しまわる与ひょう。すると、機の音が止まり、機屋から出てきたつうが与ひょうに2枚の千羽織りを渡す。つうと再会できた与ひょうは喜びに泣き崩れるが、つうは機屋の中を見られてしまったのでもはや人間の姿ではいられない。夕空に鶴の姿に戻ったつうが消えていく。



2000年公演より

團 伊玖磨

## 夕鶴

YUZURU / Dan Ikuma

全1幕〈日本語上演〉

指揮……………高関 健  
Conductor Takaseki Ken

演出……………栗山民也  
Production Kuriyama Tamiya

美術……………堀尾幸男  
Scenery Design Horio Yukio

衣裳……………植田いつ子  
Costume Design Ueda Itsuko

照明……………勝柴次朗  
Lighting Design Katsushiba Jiro

つう……………(4日・6日) (5日)  
Tsu 釜洞祐子 腰越満美  
Kamahora Yuko Koshigoe Mami

与ひょう……………経種廉彦 小原啓楼  
Yohyo Idane Yasuhiko Ohara Keirou

運ず……………工藤 博 谷 友博  
Unzu Kudo Hiroshi Tani Tomohiro

惣ど……………峰 茂樹 島村武男  
Sodo Mine Shigeki Shimamura Takeo

管弦楽……………東京交響楽団  
Orchestra Tokyo Symphony Orchestra

2011.2/4 (金) 6:30

2/5 (土) 2:00

2/6 (日) 2:00

オペラパレス

【チケット料金(税込)】

S : 15,750円・A : 12,600円・B : 8,400円・C : 6,300円・D : 3,150円

【前売開始】2010.9/18 (土)

# 夕鶴

YUZURU / Dan Ikuma

指揮：高関 健

Conductor : Takaseki Ken

東京生まれ。桐朋学園大学在学中の1977年にカラヤン指揮者コンクールジャパンで優勝。卒業後ベルリン・フィルハーモニー・オーケストラ・アカデミーに留学し、カラヤンのアシスタントを務めた。81年にベルゲン交響楽団(現ベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団)を指揮してヨーロッパに、85年日本フィルハーモニー交響楽団定期演奏会で日本にデビュー。その後もNHK交響楽団、ウィーン交響楽団、オスロ・フィルハーモニー管弦楽団、デンマーク国立放送交響楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、クラングフォーラム・ウィーン、ケルン放送交響楽団など国内外のオーケストラに客演。94年には群馬交響楽団ヨーロッパ公演を成功に導いた。広島交響楽団音楽監督・常任指揮者、新日本フィルハーモニー交響楽団正指揮者、大阪センチュリー交響楽団常任指揮者、群馬交響楽団音楽監督などを務め、現在、札幌交響楽団正指揮者(2003年4月～)。1996年6月に渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。新国立劇場オペラ初登場。98年新国立劇場バレエ『梵鐘の聲—平家物語より—』指揮。



演出：栗山民也

Production : Kuriyama Tamiya

早稲田大学文学部演劇科卒業。主な演出作品に、『ゴドーを待ちながら』『阿国』『獅子を飼う』『GHETTO / ゲットー』『海の沸点』『エヴァ、帰りのない旅』『太鼓たたいて笛ふいて』『マリー・アントワネット』『私はだれでしょう』『ロマンス』『かもめ』『闇に咲く花』『赤い城 黒い砂』『きらめく星座』『BLACK BIRD』『炎の人』『組曲虐殺』『海をゆく者』などがある。紀伊國屋演劇賞、読売演劇大賞最優秀演出家賞、芸術選奨文部大臣新人賞、毎日芸術賞第1回千田是也賞、第1回朝日舞台芸術賞などを受賞。新国立劇場では『今宵限りは……』『ブッダ』『キーン』『夜への長い旅路』『欲望という名の電車』『ピカドン・キジムナー』『夢の裂け目』『ワーニャおじさん』『櫻の園』『浮標』『夢の泪』『涙の谷、銀河の丘』『世阿彌』『胎内』『喪服の似合うエレクトラ』『箱根強羅ホテル』『母・胆っ玉とその子供たち』『夢の痂』『CLEANSKINS / きれいな肌』『氷屋来たる』『まほろば』、オペラ『夕鶴』『蝶々夫人』を演出。新国立劇場演劇前芸術監督、現在、新国立劇場演劇研修所所長。

# 夕鶴

YUZURU / Dan Ikuma

## つう：釜洞祐子

Tsu : Kamahora Yuko

神戸女学院大学音楽学部、東京音楽大学研究科オペラコース、文化庁オペラ研修所第4期修了。1982年度日本音楽コンクール第1位。83年日生劇場『魔笛』夜の女王役で本格的デビュー。翌年ハンブルク州立歌劇場日本公演の『魔笛』同役で急遽代演し、その大役を見事果たした。86年から92年までドイツ・ヘッセン州立カッセル歌劇場と契約を結び、ハンブルク、ミュンヘン、ドレスデン等の劇場へも客演。94年度ジロー・オペラ賞。主役兼プロデューサーとして絶賛を浴びた三木稔『春琴抄』とプーランク『声』のソロリサイタルに対し04年度音楽クリティック・クラブ賞受賞。新国立劇場には98年『アラベッラ』ズデンカ、2001年『リゴレット』ジルダ、03年『光』ホアン、06年『愛怨』桜子／柳玲、08年『黒船 一夜明け』お吉に続いて6回目の登場となる。二期会会員。



## つう：腰越満美

Tsu : Koshigoe Mami

東京コンセルヴァトワール尚美ディプロマコース修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリアに留学。レパートリーとして、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、『コジ・ファン・トゥッテ』デスピーナ、『修道女アンジェリカ』タイトルロール、『ラ・ボエーム』ミミとムゼッタ、『カルメン』タイトルロールとミカエラ、『蝶々夫人』タイトルロール、『トスカ』等が挙げられる。2003年二期会オペラ公演『蝶々夫人』タイトルロール、04年には宮本亜門演出『ドン・ジョヴァンニ』に出演。新国立劇場には1997年『建・TAKERU』夏乃、99年『天守物語』侍女 萩、2001年『リゴレット』チェブラーノ伯爵夫人、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、02年『忠臣蔵』綾衣、04年『鳴神』雲の絶間姫、08年『黒船 一夜明け』お吉に続いて8回目の登場となる。二期会会員。



## 与ひょう：経種廉彦

Yohyo : Idane Yasuhiko

東京芸術大学、同大学大学院修了。文化庁オペラ研修所第7期修了。1988年イタリア声楽コンクール金賞受賞。91年より文化庁派遣芸術家在外研修員としてミラノに留学。帰国後は『コジ・ファン・トゥッテ』フェルランド、『魔笛』タミーノ、サリエリの『ファルスタッフ』フォード氏、『ルル』画家と黒人、『後宮からの逃走』ベルモンテ、『椿姫』アルフレードなど精力的に出演を重ねている。新国立劇場では『アラベッラ』マッテオ、『愛怨』大野浄人、『イドメネオ』アルバーチェ、『ばらの騎士』エレメル伯、『トゥーランドット』パン、『修禅寺物語』春彦、こどものためのオペラ劇場『ジークフリートの冒険』ジークフリートなど数多く出演。国立音楽大学及び東京音楽大学講師。二期会会員。



## 与ひょう：小原啓楼

Yohyo : Ohara Keirou

勤務していたソフトウェア開発企業を退職し、オペラを学ぶため東京芸術大学声楽科に入学。同大学大学院修士課程オペラ科修了。同大学院博士課程修了。第69回読売新人演奏会に出演。第41回日伊声楽コンクール第3位並びに歌曲賞受賞。これまでに2006年日生劇場『カプレーティ家とモンテッキ家』テバルド、『チェネレントラ』ドン・ラミーロ、『イドメネオ』イダマンテ、『こうもり』アルフレード、『ジャンニ・スキッキ』リヌッチョ、『フィガロの結婚』バジリオ、『愛の妙薬』ネモリーノなどに出演。新国立劇場には06年07年こどものためのオペラ劇場『スペース・トゥーランドット』キャプテン・レオ役で出演。二期会会員。

